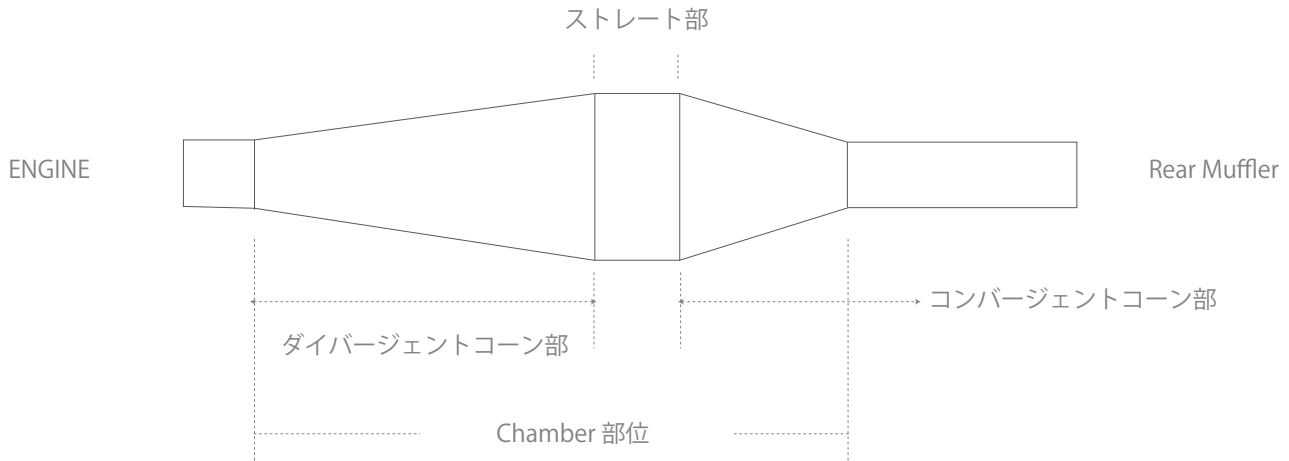


# Chamber の仕組みと効果

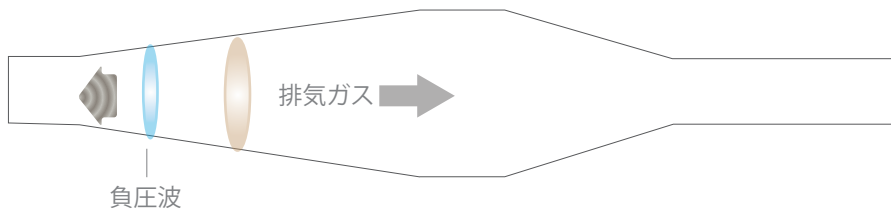
## ■ 部位と名称



## ■ 各部の働き

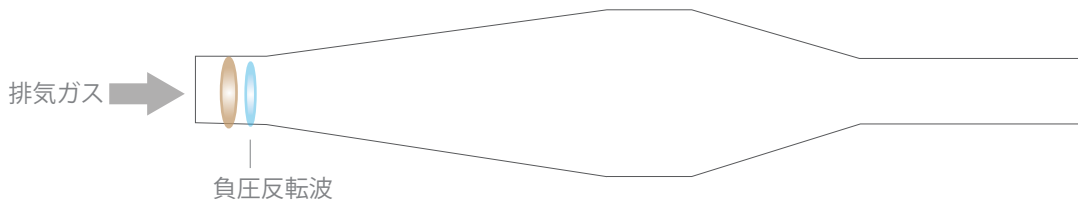
### ダイバージェントコーン部

エキゾーストパイプを通ってきた排気ガスはチャンバーのダイバージェントコーン（開放部）に達すると、パイプ径（容積）が急激に広がり負圧波が発生。負圧波が排気を促進させる。



### コンバージェントコーン部

排気ガスを絞り込むことで圧力をたかめ負圧反転波をつくり、バルブオーバーラップ時に新規流れ出そうとする新気をシリンダーへ戻す。また負圧反転波が吸い出し効果（脈動効果）を生みはいき効率が向上。



### ストレート部

ストレート部の長さによって上記2つを作用させるタイミングを調整する。

Chamber は、上記の作用をバランスさせることで充填効率をアップさせ中低速のトルクアップ、アクセルレスポンスの向上が狙います。